



地元で蜚を呼び戻そう

e・myokko・蜚再生プロジェクト

NPO法人を申請して
いるe・myokkoの今
年の活動、蜚プロジェクト
がスタートしました。
e・myokkoは、東
京近郊在住の妙高出身者

で構成されている「えち
ご妙高会」の有志を中心
に、妙高市に貢献できる
事業をしようと今年春に
設立されたNPOです。

残っていて、東京からの
参加者は、作業中にオニ
ヤンマやカラスアゲハ、
イワナの稚魚の姿を見つ
けて大喜び。来年には蜚
を呼び戻せることを願
い、重い石を1個ずつ並
べました。さらに、とこ
ろどころに高低をつけ、
せせらぎを演出。林の中
に涼しげな水音が響きま
す。

妙高の地に蜚を呼び戻
そうという「蜚プロジェ
クト」。前日から現地入
りしたメンバーは、8月
7日早朝より作業を開
始。池の平田口用水に蜚
が卵を産めるように石を
150m敷き詰めまし
た。このプロジェクトに
は、用水使用許可や石の
確保など地元の多くの
人の協力もあり、作業は
調に進められました(写
真)。

事務局長の藤田恵美子
さんは「私達ができるこ
とは限られた、ほんの小
さな活動ですが、妙高地
域のために続けて行きたく
いと思っています」と今
後の活動の広がりに向け
て込めます。

かつて蜚が飛んでいた
この用水にはまだ自然が

を込めます。